

自衛隊函館地方協力本部長の小幡です。

函館は、10月初旬、日中の気温は25℃近くまでのぼり比較的暖かいですが、朝晩めっきりと寒くなりました。新酒、秋の風、秋夕焼、秋の風、翳雲、薄などの秋の歳時記がしっかりとくるこの頃ですね。

さて、先月の9月からは高校在校生を対象とした採用試験がスタートし、一般曹候補生の採用一次試験が実施され、多くの方に受験して頂きました。一般曹候補生の一次試験の合格発表が10月4日（金）にされる予定で、より多くの方が合格し10月12日（土）～14日（月）に予定される二次試験に進まれることを祈っています。そのほか10月には、防衛医科大学校医学科の一次試験が10月26日（土）・27日（日）、同じく看護科の一次試験が10月19日（土）、航空学生の二次試験が10月15日（火）～20日（日）、予備自衛官補（一般・技能）の試験が10月5日（土）・6日（日）にそれぞれ実施されます。すでに志願受付は終了していますが、志願された方々の朗報をお待ちしています。

今回は自衛官の待遇について、少し述べたいと思います。すでにご存じの方も多いかと思いますが、自衛官の初任給は一般曹候補生（定年雇用制）が約17万円です。自衛官候補生は教育期間の当初3カ月は候補生手当として約13万円で、3カ月後に2士に任官時に、任用一時金約18万円が支給され、その後、一般曹候補生と同額の初任給額を受け取ることとなります。自衛官候補生は任期に応じて、特例退職手当が支

給されます。1任期（2年）で約57万円、2任期（4年）で約144万円です。いずれも年1回の昇給、夏、冬の賞与（ボーナス）があります。その他、各種手当（扶養、住居、通勤、営外、航空、乗組、空挺隊員等）や衣食住も無料（若しくは貸与）です。更には、保険、貯金、年金、ワークライフバランスの制度が整っており安心できますし、更に福利厚生のお優遇制度、官舎等の住居が充実しています。

次に自衛隊の学校については、防衛大学校、防衛医科大学校、陸上自衛隊高等工科学校（生徒）がそれぞれあります。いずれも特別職国家公務員であり、学生の間は自衛官の身分ではありません。手当は防衛大学校、防衛医科大学校が約12万円、生徒が約10万円で、夏・冬の賞与（ボーナス）があり、学費、衣食住は無料（若しくは貸与）です。卒業後、防衛大学校、防衛医科大学校は学士、生徒は高校卒業の資格が授与されます。

このように、自衛官、自衛隊の学校の学生は、非常に恵まれた待遇にあると思っています。大まかに記述したところもあり、詳しくはパンフレットやホームページでご確認頂ければと思います。

防衛省では現在、自衛官の初任給や手当を増額するとともに、自衛官候補生の採用基準も見直しが行われ、2020年春から新制度に切り替わる見積もりです。自衛官の待遇が更に良くなることとなります。志願してくれる方がより一層多くなればと期待しています。

10月の広報では、多くの学校のご理解を得て総合的学習の時間にご協力するとともに、10月25日（金）～27日（日）に海上自衛隊の佐世保在籍の第5護衛隊の4隻（こんごう、あけぼの、ありあけ、あきづき）が函館港埠頭に入港し、一般公開が実施される予定です。細部が決まりましたら、ホームページ等でお知らせします。多くの方の来場をお待ちしています。更に10月26日（土）には陸上自衛隊ヘリコプター（UH-1）の体験搭乗が予定されています。10月も艦艇の一般公開、ヘリコプターの体験搭乗等、広報イベントを通じて多くの方に喜んでいただき、自衛隊について理解を深めて頂けたら幸いです。

イベントの詳しい情報は、函館地方協力本部のホームページでご確認下さい。また、広報イベント情報や広報イベントの状況をフェースブックでもお知らせしていますので、是非ご利用下さい。

元年10月